

▼住宅対策

住宅困窮者対策

市営住宅は、条例で特別な事情があると市長が認めた場合、保証人の免除規定があります。

しかし免除例は、緊急のDV被害者だけ。他は窓口で「保証人を探してきてください」と追い返し、免除例はありません。こんな対応でよく免除制度がありますと答弁できたものです。



社会保障推進協議会の皆さんと国保・介護の市担当と懇談

空き家対策早急に

老朽家屋の取り壊しや空き家のリフォーム助成、空き家を使いたい人への紹介制度など、すでに実施している自治体が多くあります。スピード感ある空き家対策の実施を求めました。

▼思いやりの市政を

中学生にも発達相談室を

ことばや情緒の発達に、まづきがある幼児・児童に、特性やニーズに応じた指導を行い、保護者や先生方、子ども本人からの相談に応じる、子ども発達相談室(通級指導教室)が市内4校(北・赤堀・あずま・境の各小学校)に設置されています。

中学生になると制度がなく、指導が中断してしまいます。不登校が多いのはこのためという人も。父母から開設要望が出されていますが、「他市の状況を見て」と動きません。そうしている間にすでに県内7市で実施という状況に。エリートを育てる四ッ

葉学園は他市に先駆け、障がい者支援は他市の顔色を見て最後という、温かみのない教育委員会では困ります。早期の実施を求めました。

短期入所休止で障がい者困惑

福祉法人が行っている障がい者の短期入所が、突然休止状態に。施設に頼らざるを得ない人たちは不安でいっぱいです。

利用していた26人には、他の福祉施設を案内しているという事ですが、なれた施設から突然違うところに変わる、障がい者の心理的負担は大きいです。

この法人は多くの市の障がい者施設の管理を任されていますが、これでは安心できません。「福祉法人が余裕人数を確保して頂けるよう、市としてできることはないか相談したい。」との答弁がありました。今後の対応を注視していきます。

▼保活における情報公開について

保育所の空き情報や入所判定基準点数の公表など求めました。

▼農業振興

丁PP参加の場合の影響
水田農業対策

三郷小に公設児童クラブ

共働き家庭が増え、児童クラブの利用者が増加しています。日本共産党議員団は、定員を超えて待機児が心配される場合、市が責任をもって対応するよう求めてきました。来年度、三郷小学校区で公設の児童クラブが、学校敷地内の旧三郷幼稚園跡地に新設されることになりました。

補正予算から
子育て支援一歩前進

ひとり親家庭に入学準備金

6人に1人が貧困世帯。パートでしか働けない母子世帯など、多くが厳しい状況です。党議員団は「子どもの貧困」対策を求めてきました。ひとり親家庭等の子どもが小学校入学する際、入学準備金25,000円を支給する条例ができました。ランドセルや学用品の購入費として、2月ごろ支給を予定しています。